

環境保護の取り組み

東海ろうきんエコアクション

当金庫は、北は日本アルプスを始めとする荘厳な山々、南は雄大な太平洋と、豊かな自然環境に恵まれた東海三県に基盤を置く地域金融機関です。

この地域における環境問題への対応を社会的責務としてとらえ、2002年2月15日に本店ビルで「ISO14001」を認証取得し取り組んできました。当金庫はこのノウハウを活かして環境活動を全店舗に拡大するとともに、役職員全体で意識の向上を図るために、「ISO14001」を2014年2月に返上し、新たな「環境方針」に基づく環境保護の取り組み「エコアクション」を策定し、継続的に環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針

1. 環境に関する法規制・条例等を遵守します。
2. 事業から発生する環境への影響を役職員一人ひとりが考え、持続可能な社会の形成に向けて努力・工夫を重ねます。
3. 地域での環境活動の中で主体的に役割を発揮していきます。
4. 環境に配慮したサービスを提供し、お客さまの環境保全への取り組みを支援します。
5. 本方針から派生する環境活動を通じて役職員に教育・フィードバックを行い、環境活動の取り組み向上に繋げていきます。
6. 環境活動はホームページなどで対外に公表します。

環境管理委員会の設置

環境経営者（専務理事）および環境管理責任者（総務部長）を中心に、環境管理委員（役員、選任部店長）をメンバーとした環境管理委員会を設置し、環境保護に繋がる様々な施策や目標の進捗管理について議論を交わしています。

中期エコアクション計画の制定

「環境方針」に基づき、2014年度から3カ年の中期エコアクション計画を以下に制定しました。

1. 電気使用量、紙ごみ排出量の3%削減
2. 各種エコ教育や、職域・地域・家庭における環境活動への参加等を通じた役職員のエコマインドの醸成
3. 環境活動を行う、金庫理念に合致するNPO等の団体に対する各種支援

その他の特徴的な取り組み

上記以外にも当金庫では、以下の項目について取り組んでおり、環境負荷低減を図っています。

- 「エコアクション宣言」を東海ろうきんで働くすべての役職員が行い、自律的に環境負荷低減に取り組めます。
- 職員のエコマインド醸成のため、外部講師を招き環境セミナーを開催しました。
- 冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、リサイクル・リユースの徹底、グリーン商品の購入、エコカーの利用等、省エネ・省資源に努め、環境負荷低減とコスト抑制を図っています。
- 可児文書管理センターでは東海ろうきん全部店から紙ごみを回収・加工し、それを専門業者がトイレトペーパーにしたものを金庫全体で使用して、資源の有効活用を実践しています。
- 2011年度以降、新店舗の建設時には、ソーラーパネルの設置や屋上緑化などを行っており、今後の店舗建設においても積極的に取り入れていく予定です。また、既存店舗においては、照明のLED化工事を順次行っており、環境にやさしい店舗作りを行っています。



環境セミナー



太陽光発電パネル(中津川支店)